



領域分割・2

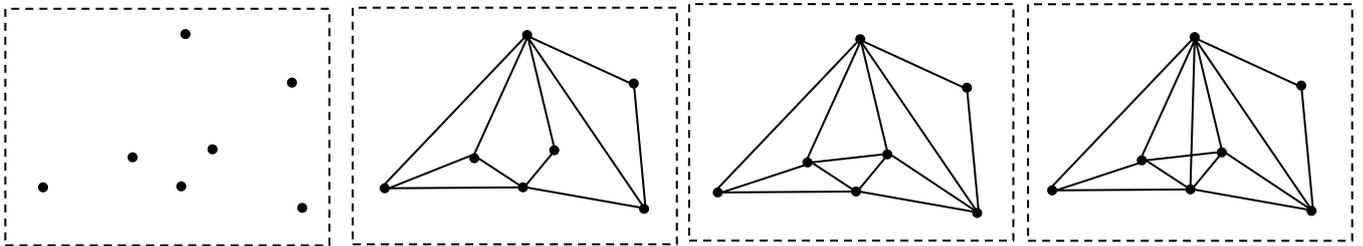
点と点をまっすぐな線^{せん}で結んで、線^{かこ}で囲まれた部分^{ぶぶん}を数えます。図2では5個、図3では7個の部分があります。図4のように、点^{てん}ではないところで線^{せん}と線^{せん}がかさなることはできません。

図1

図2

図3

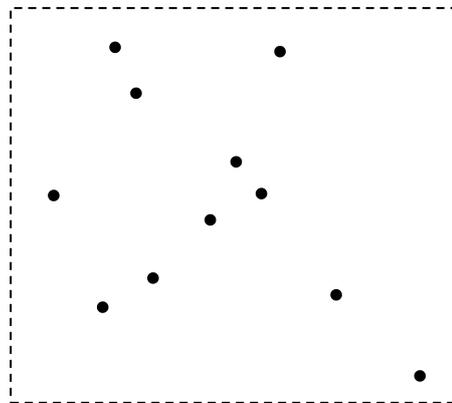
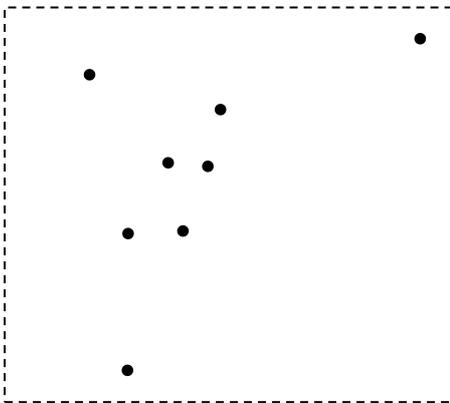
図4



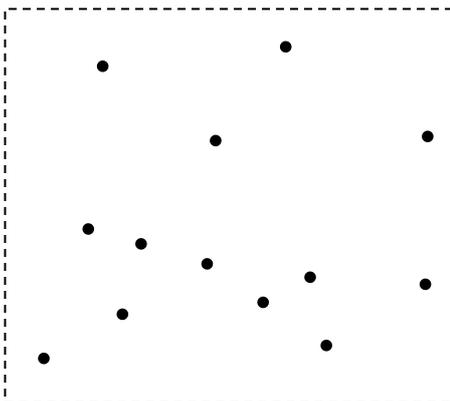
(ア)～(ウ)の図について、線^{おお}で囲まれた部分^{ぶぶん}ができるだけ多くなうように点と点を結びなさい。

(ア)

(イ)

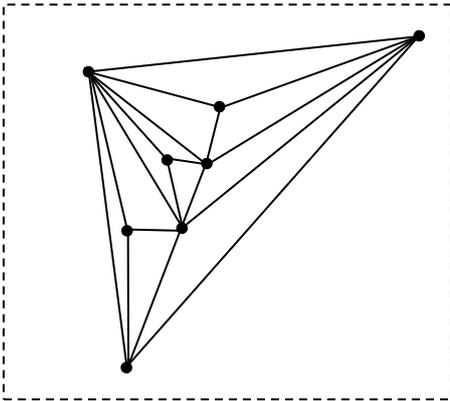


(ウ)

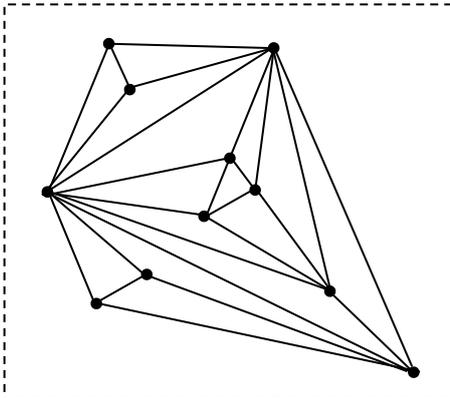


領域分割・2

(ア) 11個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。



(イ) 15個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。



(ウ) 18個の三角形に分けることができます。以下は解答例です。

